

# I 議案書

## 議案第1号 平成28年度事業報告について

### 平成28年度事業報告（案）

本協会は、「循環型社会のデザイナー」から「持続可能社会のデザイナー」へ事業領域拡大を目指し、平成28年5月に「第4期将来ビジョン2016-2025」を策定した。このビジョンを推進するための行動計画の策定、推進委員会の設置等も合わせて行い、循環型社会形成を基軸とした低炭素社会、自然共生社会形成との統合的アプローチの推進を図っていくための基盤整備に努めた。

また、本協会は、平成28年度には一般社団法人へ改組して5年目を迎え、公益法人改革法令の規定に基づく公益目的支出計画を定め、調査研究や技術の普及等の公益を目的とする事業と廃棄物コンサルタントの社会的地位、人材育成等の共益を目的とする事業に切り分けて協会運営に当たっている。公益目的事業としては、専門委員会による自主調査研究、環境省地方環境事務所と連携した自治体職員向け廃棄物処理施設整備セミナー、技術セミナー・技術発表会及び海外プロジェクトセミナーを実施した。

上記の活動のほか、平成28年度は、主として以下の活動を行った。

○環境省が主導する大規模災害対策に備えるD.Waste-Netに復旧・復興支援対応メンバーとして参画し、協力する体制づくりに努めた。また環境省との意見交換会では、環境省から国の重点施策、予算の説明が行われ、協会からは、「第4期将来ビジョン」、「廃棄物コンサルタントの活用について」の説明、要望等を行い、意見交換を行った。

○環境省から「平成28年度放射性物質により汚染された廃棄物の実態調査及び最終処分場に関する技術的検討業務」を受注し、会員企業10社の技術者から構成するチームを組織し、有識者から構成する検討会における審議を踏まえつつ、実施した。

○(公社)全国都市清掃会議からの要請を受けて、「ごみ処理施設整備の計画・設計要領(2017版)」の作成に対し、全面的に協力する体制を構築して実施した。

○会員技術者の技術力の向上、人材育成を図るため、検討委員会による調査研究、技術士試験対策講座、若手職員を対象とした技術者研修講座、施設見学会等の共益事業を実施した。

○日本廃棄物団体連合会の国際委員会及び広報連絡会議に参画し、環境省、国土交通省、関係団体の国際的な取組み及び関係団体のイベント開催等の情報交換を通じ、連携を図った。

また、当協会の広報活動として、前年どおり、都道府県、23区・市、組合等合わせて1,500余の地方自治体に対し、「協会のご案内」、「会員名簿」等を送付し、会報「廃コン協」は、都道府県、人口20万人以上の市に送付するなど協会活動への理解を深めるよう努めた。合わせて協会ホームページにより、随時、情報提供に努めた。

## 1. 第4期将来ビジョンの策定と推進

我が国の持続可能社会の形成に貢献するコンサルタント集団を目指し、平成28年5月に協会第4期将来ビジョン2016-2025「持続可能社会のデザイナーを目指して」を策定した。これまでの循環型社会のデザイナーを目指した活動から、安心を基盤とする循環型社会、低炭素社会、自然共生社会の統合に向けた活動へと領域を拡げた取組みを強化するための基本方針、アクションリストとロードマップを策定した。

この新ビジョンを推進し、フォローアップを行うため中期行動計画2020、年次行動計画2016を策定するとともに、中期行動計画2020推進委員会及び同WGを設置した。

## 2. 調査研究

### (1) 廃棄物・資源循環マネジメント技術に関する調査研究（公益事業）

#### ① 廃棄物関連施設のストックマネジメント評価・検討専門委員会（H24～28）

主査：下村由次郎 部会顧問（パシフィックコンサルタンツ（株））

以下に示す課題の調査検討を行い、成果をとりまとめた。

- ・廃棄物処理施設の長寿命化計画策定での課題・提案の整理
- ・アセットマネジメントを取り巻く動向と今後の課題

#### ② 日本における今後の廃棄物処理施設のあり方調査専門委員会（H25～28、終了）

主査：入佐孝一 委員（八千代エンジニアリング（株））

以下に示す課題の調査検討を行い、成果をとりまとめ、報告書は会員へ配布した。

- ・社会的背景の変化に対応した施設整備のあり方
- ・経済的観点からの課題とあるべき姿
- ・今後新たな観点からのインフラ施設整備のあり方

#### ③ 人口減少社会における廃棄物処理施設のあり方専門委員会（H27～29）

主査：中石一弘 対外活動部会委員（（株）エックス都市研究所）

平成29年度にとりまとめ、報告書を作成する。

検討した項目は、以下のとおり。

- ・我が国における人口減少による廃棄物処理施設への影響・課題
- ・人口減少社会における既存ごみ量推計方法の検証
- ・人口減少社会における今後の一般廃棄物処理施設整備のあるべき姿
- ・ケーススタディ

#### ④ 災害廃棄物処理に関する廃棄物コンサルタントのあり方専門委員会（H28～29）

主査：眞鍋和俊 技術部会委員（応用地質（株））

副主査：上田淳也 パシフィックコンサルタンツ（株）

副主査：後藤久美子 八千代エンジニアリング（株）

副主査：林正樹 （株）建設技術研究所

災害廃棄物の切れ目のない対応を実現するため、事前対応、初動・応急対応支援等について、平成28年度から二カ年計画で新規に調査研究に着手した。主な検討項目は、以下のとおり。

- ・災害廃棄物処理計画のあり方
- ・D. Waste-Net への対応方法
- ・人材育成の手法

## (2) 検討委員会による調査研究

### ① 廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その2 (H28～29)

主査：西山勝栄 技術部会委員 ((株)建設技術研究所)

品質向上に関する検討委員会その1は、会員企業へのアンケート調査の集計、解析を行い、会員企業の品質向上対策の実態把握、課題等をまとめ報告書を作成し、会員へ送付した。

その2は、計画・設計等の各業務段階において留意すべき項目の抽出・整理を行い、品質チェックポイントシートの作成に着手した。

## (3) 受託事業

平成28年度は、平成27年度に引き続き環境省の以下の業務を受注し実施した。

「平成28年度放射性物質により汚染された廃棄物の実態調査及び最終処分場に関する技術的検討業務」(総合評価落札方式)

○ 受注金額：21,600千円(税込み)

○ 工期：平成28年7月4日～平成29年3月31日

○ 実施体制

- ・会員会社10社28名のコンサルタントによる検討委員会を組織し実施
- ・主査 古田秀雄 技術部会委員 ((株)建設技術研究所)
- 副主査 時田敏彦 (パシフィックコンサルタンツ(株))
- 副主査 千葉俊彦 ((株)エックス都市研究所)
- ・有識者による検討会のご指導のもと実施

○ 主な業務内容

- ・最終処分場の実態調査
- ・放射性物質に関する長期浸出可能性の評価方法の検討
- ・長期的な最終処分場管理体制の検討
- ・廃棄物関係ガイドライン改訂の検討

## (4) ごみ処理施設整備の計画・設計要領(2017版)の作成協力

(公社)全国都市清掃会議より依頼を受けて、標記図書原稿作成に協力した。西川会長が作成委員会委員として参加するとともに技術部会内に、10社22名のコンサルタントを以下の3班編成で構成する執筆作業部会を設けて実施した。

- ・総括主査 日高副会長
- ・総括副主査 森副会長
- ・「3章 長寿命化計画の策定」
- 主査 入佐 孝一 八千代エンジニアリング(株)
- 副主査 萬條 和広 (株)建設技術研究所
- ・「4章 ごみ処理施設の整備に係る各種計画の策定」

主査 中川 秀利 (株)エイト日本技術開発  
副主査 國安 弘幸 八千代エンジニアリング(株)  
副主査 眞鍋 和俊 応用地質(株)  
・「6章 ごみ処理施設建設工事の発注手続」  
主査 中石 一弘 (株)エックス都市研究所  
副主査 長谷川 貴之 パシフィックコンサルタンツ(株)

### 3. 人材育成、技術の普及啓発

#### (1) 講習会等人材育成事業

① 技術士試験対策講習会(担当:前田伊瑞実 委員(応用地質(株))、入佐孝一 委員(八千代エンジニアリング(株)))

○ 日時: 平成28年4月17日(金) 14:00-17:00

○ 場所: 協会会議室

○ 参加者: 9名

○ 講習会の科目と講師

- ・挨拶 日高 彰 技術部会長
- ・総論 前田 伊瑞実 技術部会委員
- ・試験対策のポイント 入佐 孝一 技術部会委員
- ・合格者体験談 井伊 亮太 パシフィックコンサルタンツ(株)  
長谷川 亮 (株)環境管理センター

② 技術者研修講座(担当:森智志 委員((株)NJS、入佐孝一 委員(八千代エンジニアリング(株))、斉藤文夫 委員((株)環境管理センター))

若手技術者の基礎技術力の向上を目指し、技術者研修講座を開催した。前年度同様中日に施設見学会を設け、リフレッシュを行いつつ学習意欲増進を図った。講師は、技術部会委員を中心として協会役員、会員会社のベテランのコンサルタント11名が務めた。

○ 日時: 平成28年8月23日(火)～8月25日(木)

○ 場所: エステックビル会議室

○ 参加者: 19名

○ プログラム:次表のとおり

日程	時間	講義内容	講師氏名	講師所属
8 月 23 日 (火)	10:00~10:15	開講	日高 彰	技術部会長
	10:15~11:15	コンサルタント業務について	日高 彰	PCKK
	11:20~12:50	廃棄物管理計画	鈴木 修	EX都市研
	12:50~14:00	休憩		
	14:00~15:15	廃棄物処理の現状と法制度	小林 陽一	EX都市研
	15:20~16:20	収集運搬	中山 伸吾	エイト日技
	16:30~17:30	会長講話	西川 光善	協会会長
	18:00~20:00	意見交換会	受講生、講師	
8 月 24 日 (水)	9:00~10:30	中間処理	入佐 孝一	八千代エンジ
	10:35~12:05	最終処分	古田 秀雄	建設技術研究所
	12:05~13:00	休憩		
	13:00~17:00	施設見学会（多摩川清掃工場）		
8 月 25 日 (木)	9:30~10:30	生活排水	森 智志	NJS
	10:35~11:35	廃棄物の測定・分析	吉田 幸弘	ECC
	11:35~12:20	休憩		
	12:20~13:35	震災廃棄物・放射性汚染廃棄物の管理	前田伊瑞実	応用地質
	13:40~14:40	海外コンサルタント業務	杉本 聡	EX都市研
	14:45~15:15	研修のまとめ	斉藤 文夫	ECC
	15:15~15:30	閉講（修了証授与）	豊口 敏之	技術副部会長

### ③ 施設見学会

平成28年度の施設見学会は、環境省が直轄事業として処理を行っている福島県富岡町の施設を見学した。

○ 日時：平成28年7月8日（金）

○ 見学先：①富岡町仮設処理施設（破碎選別、減容化施設）

福島県双葉郡富岡町大字毛萱字浜畑 197-1

②楡葉町天神岬スポーツ公園展望台（前原地区の仮置場群）

福島県双葉郡楡葉町大字北田字上ノ原

○ 参加者：19名（事務局1名を含む）

### (2) 技術の普及・啓発事業

#### ① 廃棄物処理施設整備セミナー（公益事業）（担当：日高 彰 部会長）

本セミナーは、平成22年度から、環境省の地方環境事務所と共催により自治体の廃棄物処理施設整備担当者を対象に実施してきた。平成26年春までに全国の7事務所との共催セミナーは一巡し、平成26年秋からは、第二巡目に入っている。平成28年度は、環境省近畿地方環境事務所、中四国地方環境事務所との共催セミナーを開催した。

## ア 近畿

- 日 時：平成 28 年 5 月 12 日（木）13：30～16：30
- 場 所：大阪市 TKP 新大阪カンファレンスセンター
- 参加者：96 名（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県）
- プログラム：
  - 近畿地方環境事務所からの情報提供
  - 「循環型社会形成推進交付金制度のご活用に当たって」  
（事務所担当官が熊本地震対応のため資料配布のみ）
  - 廃コン協側の講義
    - ・「廃棄物処理施設整備事業（ごみ焼却施設）の全体プロセスの概要及び留意点」  
講師：日高 彰 技術部会長
    - ・「廃棄物処理施設整備事業（ごみ焼却施設・マテリアルリサイクル施設）計画の策定  
における留意点」  
講師：入佐 孝一 技術部会委員

## イ 中四国

- 日 時：平成 28 年 11 月 2 日（水）13：30～16：30
- 場 所：岡山市 岡山コンベンションセンター
- 参加者：42 名（岡山県・広島県・島根県・鳥取県・愛媛県・香川県・徳島県・高知県）
- プログラム：
  - 中四国地方環境事務所からの情報提供
  - 「廃棄物処理施設整備事業に係る交付金の状況及び関連動向について」  
廃棄物対策等調査官 正司弘生
  - 廃コン協側の講義
    - ・「廃棄物処理施設整備事業（し尿処理施設（汚泥再生処理センター含む）  
計画の策定における留意点」  
講師：技術部会協力員 河添 智
    - ・「契約締結時における PFI 等手法の概要及び導入における留意点」  
講師：技術部会委員 森 智志

## ② 技術セミナー・技術発表会（公益事業）

（担当；宇佐美 雅仁委員（中日本建設コンサルタント（株））、鈴木 修委員（（株）エックス都市研究所）、斉藤 文夫委員（（株）環境管理センター））

例年どおり技術セミナーと技術発表会の同時開催を行った。技術セミナーのテーマは、災害廃棄物処理計画を取り上げ、学識者と自治体の講師から講演いただいた。発表会は、件数が少なめであったが、内容の濃い発表であった。

- 日 時：平成 28 年 11 月 24 日（水）13：15～17:20
- 場 所：エッサム神田ホール 1 号館
- 参加者：48 名
- プログラム：

挨拶 日高 彰 技術部会長

第 1 部 技術セミナー テーマ「災害廃棄物処理計画の課題と展望」

基調講演 「持続可能で強靱な廃棄物処理のシステムづくり」

国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長 大迫 政浩

事例紹介

1) 「新潟市災害廃棄物処理計画について」

新潟市環境部廃棄物政策課企画係 主査 今井 和行

2) 「災害廃棄物処理計画の策定について」

延岡市市民環境部クリーンセンター資源対策課 主査 馬服 一郎

## 第2部 技術発表会

論文1 UAVを用いた空中写真測量による災害廃棄物管理の実用化

応用地質(株) 近藤 晋

論文2 最終処分場候補地選定手法の紹介

(株)エイト日本技術開発 佐竹 佑太

論文3 災害廃棄物の手選別作業の効率に影響する要因の検討

(株)建設技術研究所 五十嵐 知宏

論文4 東日本大震災における災害用空地(仮置場)の時系列的な利用状況

パシフィックコンサルタンツ(株) 山口 侑也

専門委員会報告 豊口 敏之 技術部会副部会長

技術発表会表彰式 優秀賞 近藤 晋

## 4. 対外活動

(1) 「平成28年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」の作成

「廃棄物コンサルタントの活用について」は、環境省版、地方自治体版の区分けを取りやめ、共通で使用する版を作成し、環境省意見交換会、全都清イベント等で配布した。

「廃棄物コンサルタントの活用について」の構成

- ・技術力に基づくコンサルタントの選定
- ・発注方式の選定手順
- ・品質向上対策
- ・最近の協会活動

(2) 環境省との意見交換等

① 意見交換会

平成28年10月26日に環境省の廃棄物対策課と協会常任理事会メンバーとで意見交換会を行った。協会からは、新ビジョンと上記資料によるコンサルタント業務の課題を説明し、環境省からは平成29年度予算要求の説明をいただき、意見交換を行った。

② D. Waste-Netメンバーと環境省との懇談会

平成29年1月25日に懇談会が開催され、今後の連携方法等について意見交換が行われた。

(3) 自治体への支援、広報活動

公益社団法人全国都市清掃会議の総会、評議員会等の行事に併設した活動、地方環境

事務所と共催した施設整備セミナーに併設した活動を、以下のとおり行った。

① 総会・秋季評議員会(平成 28 年 10 月 20 日にさいたま市で開催)

展示コーナーを設け、ポスター、協会パンフ、廃棄物コンサルタントの活用について、積算資料(案)等の資料を展示し、PRを行った。

② 全国都市清掃研究・事例発表会(平成 29 年 1 月 18 日～19 日に釧路市で開催)

施設整備に関する相談コーナーを設置するとともに上記と同様の資料展示を行った。

③ 廃棄物処理施設整備セミナー

近畿及び中四国の地方環境事務所と共催した標記セミナーを開催し、自治体職員に技術情報を提供するとともに、相談コーナーを設け、相談員を配置し、自治体職員の施設整備に関する個別相談に対応した。

(4) 関係機関、関係団体への協力、委員等の派遣

【環境省検討会への委員派遣】

・災害廃棄物対策推進検討会 技術・システム検討 WG 委員

高田 光康 ((株)東和テクノロジー)

・循環利用量調査改善検討会 産廃統計作業部会委員

新井 秀澄 ((株)エックス都市研究所)

【日本廃棄物団体連合会】

・監事 加藤秀平 専務理事

・国際委員会、広報連絡会議への参加

【(公社)全国都市清掃会議】

ごみ処理施設整備の計画・設計要領(2016 版)の作成協力

西川会長、森副会長、日高副会長ほか執筆委員 20 名が執筆協力

【(一社)廃棄物資源循環学会】

・評議員 西川光善 会長

・理事 森 孝信 副会長

【(公財)廃棄物・3R 研究財団】

平成 28 年度事業計画策定支援査読委員会委員派遣 森 智志 技術部会委員

【(公財)産業廃棄物処理事業財団】

・評議員 加藤秀平 専務理事

【(一社)廃棄物処理施設技術管理協会】

技術管理者等 CPDS 認定技術者試験委員会委員 宇佐見貞彦 対外活動部会長

(5) 大学におけるコンサルタント業務説明会

平成 28 年度は、以下の 2 大学の衛生工学・環境工学系学科を訪問し実施した。

① 京都大学 都市環境工学系

平成 29 年 1 月 16 日(木) 10:30～12:00 参加者 6 名

② 大阪市立大学 都市リサイクル工学系

平成 29 年 1 月 16 日(金) 15:30～17:00 参加者 7 名

協会の説明者と説明内容は、以下のとおり。



説明者 宇佐見対外活動部会長、小棚木対外活動副部会長

説明内容

- ・廃棄物コンサルタントの業務
- ・女性技術者懇談会作成リーフレット「廃棄物コンサルタントとして働くこと」
- ・協会の紹介

## 5. 国際協力

### (1) 海外プロジェクトセミナー（公益事業）

本セミナーは、(一社)海外環境協力センター(OECC)との6回目の合同セミナー、廃コン協の海外プロジェクトセミナーとして21回目の開催となった。会員への案内に加え、HPで一般に案内し、公開セミナー「海外における我が国のWaste-to-Energy(廃棄物焼却発電)技術～事例と展望～」を実施した。

- 日時：平成29年2月22日 午後13:30～16:30
- 会場：エッサム神田ホール1号館
- 参加者：54名
- プログラム：次表のとおり

13:30	挨拶：国際部会長 横田裕史 司会：岡本委員
13:35	基調講演：『諸外国のWaste-to-Energy技術の現状』 京都大学大学院 地球環境学堂 高岡 昌輝 教授
14:15	『循環産業の海外展開促進に向けた環境省の取組』 環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 小野 洋 企画課長
15:05	『海外でのWTE事業への取組み：事例に学ぶ』 (一社)日本環境衛生施設工業会 近藤 守 技術委員長
15:35	『海外でのWTE事業取組みのサポート：事例に学ぶ』 (一社)日本廃棄物コンサルタント協会 国際部会 杉本 聡 委員
15:55	パネルディスカッション：進行役 横田部会長 『今後のWTE事業への取組みには何が必要か？』
16:40	閉会

### (2) JICA 集団研修への講師派遣

JICA 集団研修への講師派遣は、平成28年度は2度にわたり実施した。

- 実施日：平成27年9月13日(火)、平成28年2月8日(水)
- 場所：(独)国際協力機構 JICA 東京
- 講義科目：廃棄物マスタープラン策定、最終処分場計画と事例紹介等
- 講師：国際部会 鶴見悠史委員(パシフィックコンサルタンツ(株))、杉本聡委員(株)エックス都市研究所)、庄司茂幸委員(日本工営(株))、森郁夫氏(株)エックス都市研究所)、斎藤啓輔氏(日本工営(株))

### (3) 国際セミナー等への参加と支援

環境省から要請のあった、平成29年3月14日に開催されたインドネシア国におけるごみ

焼却発電を進めるためのファイナンスに係る国際会議に、以下の3名が参加した。

- ・(株)エックス都市研究所 大野眞里
- ・日本工営(株) 齋藤暁
- ・PCKK International Asia Ms. Abby Tan

また、廃棄物資源循環学会が主導する3RNICs2017 インドの国際会議の開催を支援した。

(4) 日本廃棄物団体連合会国際委員会活動への参加

標記委員会に参加し、環境省や関係団体と連携を図るとともに情報収集に努めた。また、この委員会を通じて入会した国土交通省が主導する日露都市環境協議会の会合に出席し情報収集に努めた。

(5) 海外案件に関する受注高調査

例年通り、海外案件に関する受注高調査を3月に実施した。

## 6. 協会運営に係る活動等

(1) 公益法人制度改革への対応

法人法の規定に基づく公益目的支出計画に係る平成27年度分の公益目的支出計画実施報告書等を平成28年5月23日に内閣府の公益等認定委員会に提出した。平成27年度末の公益目的財産額は、15,071千円である。

(2) 廃棄物コンサルタント業務の発展・改善に関する活動

① 受注高調査の実施

平成27年度の受注高調査の結果は、すでに会報76号に掲載したとおりである。平成28年度受注高調査については、平成29年3月に調査票を送付した。

(3) 会報その他印刷物の刊行、広報活動

① 会報の発行

平成28年度の会報は、平成28年7月(第76号)、平成29年1月(第77号)を発行した。会員、47都道府県、112市、環境省・地方環境事務所、関係団体等440部を送付した。

② 会員名簿の発行

2016年版会員名簿は、平成28年6月に発行した。関係機関、全国の地方自治体及び協会会員等に配布した。自治体へは、47都道府県、市・23区807カ所、組合等680カ所合計1,500余を送付した。

③ その他の印刷物の発行

第4期将来ビジョンの冊子、専門委員会の報告書、協会のご案内等を印刷し会員等へ配布した。

④ ホームページの更新

ホームページを随時、情報更新したほか、新たに「ご相談窓口」をトップページに設け、自治体等の相談にきめ細かく応えることとした。

(4) 女性の活躍に資する活動

女性技術者懇談会(代表幹事:小椋さやか((株)エイト日本技術開発、秦三和子((株)エックス都市研究所、米田理津子(パシフィックコンサルタンツ(株)))を5回開催し、リーフレット「学生のみなさんに知ってほしい!廃棄物コンサルタントとして働くこと」を作成した。

## (5) 倫理の向上等に関する活動

### ① 倫理関連問題発生時の調査検討

協会会員の事業活動において、当協会の倫理規則に抵触するような実態が発生した場合、倫理委員会として必要な調査を行い、検討結果を会長に報告することとなっているが、平成 28 年度の開催はなかった。

### ② 倫理関連研修の開催

講師としてパシフィックコンサルタンツ(株)戦略企画統括部 油谷百百子広報室長をお招きし、以下の講習会を開催した。

- 日 時：平成 28 年 9 月 6 日(火) 16:00～17:00
- 場 所：エッサム神田 1 号館
- テーマ：「働き方の改革 “WLB888 プロジェクト” のご紹介」
- 参加者：19 名

## 7. 表彰

### (1) 環境大臣表彰

本協会から推薦した以下の 1 名が平成 28 年度循環型社会形成推進功労者大臣表彰(廃棄物浄化槽研究開発功労者)を受賞された。表彰式は、平成 28 年 10 月 27 日に川崎市で開催された第 60 回生活と環境全国大会の中で執り行われた。後日、会長より協会副賞が授与された。

古田 秀雄 (株)建設技術研究所

### (2) 会長表彰

第 4 回定時総会において、以下の方々に会長から賞状と記念品が贈呈された。

#### 【功労賞】

大野 眞里 元協会理事 (株)エックス都市研究所

#### 【功績賞】(平成 27 年度環境省受託) 特定一廃等最終処分場調査検討委員会

主査・副主査・若手コンサルタントグループ

(次表のとおり。)

委員会役職	氏名	会社名
主 査	古田 秀雄	(株)建設技術研究所
副主査	時田 敏彦	パシフィックコンサルタンツ(株)
副主査	千葉 俊彦	(株)エックス都市研究所
委 員	赤間 恭	(株)オオバ
委 員	木内 弘	(株)エイト日本技術開発
委 員	高本 秀太	(株)エックス都市研究所
委 員	杉浦 航	パシフィックコンサルタンツ(株)
委 員	高橋 麻由	八千代エンジニアリング(株)
委 員	堀 修	応用地質(株)
委 員	宮内 大樹	(株)日水コン
委 員	山岡 純子	(株)環境管理センター
委 員	山口 陽英	中日本建設コンサルタント(株)
委 員	和田 崇史	(株)建設技術研究所

## 8. 会員の動向

会員数 41社 (平成29年3月31日現在)

平成28年度は、入退会なし。

## 9. 会議

### (1) 総会 第5回定時総会

日 時 平成28年5月25日(水) 午後3時～4時

場 所 東京グランドホテル4階「芙蓉の間」

議 案 議案第1号 平成27年度事業報告について

議案第2号 平成27年度決算報告及び監査報告について

議案第3号 役員を選任について

報 告 報告事項第1号 平成28年度事業計画について

報告事項第2号 平成28年度予算について

会長表彰 功労賞1名、功績賞1グループ13名

### (2) 理事会

① 第9回理事会 平成28年5月10日(火) 午後4時～5時 協会会議室

【審議事項】

1 第5回定時総会について

1) 第5回定時総会資料

2) 公益目的支出計画実施報告書について

3) 社員総会招集の決議について

2 定時総会及び講演会・懇親会の進行等について

- 3 平成 27 年度表彰審査結果について
- 4 協会新ビジョンについて
- 5 その他

② 第 10 回理事会 平成 29 年 2 月 23 日 (木) 午後 4 時～午後 5 時 協会会議室

【審議事項】

- 1 平成 29 年度における会費区分について
- 2 平成 28 年度事業計画 (案) 及び平成 28 年度予算 (案) について
- 3 公益目的支出計画の延長及び終了後の公益事業対応について
- 4 第 4 期役員候補者名簿について
- 5 表彰審査会指名委員の選任について
- 6 会員会社による会報の執筆分担について
- 7 年間スケジュールについて
- 8 その他

(3) 常任理事会

- ① 第 1 回 平成 27 年 8 月 5 日 (水) 午後 3 時～5 時 協会会議室
- ② 第 2 回 平成 27 年 8 月 25 日 (水) 午後 3 時～5 時 協会会議室
- ③ 第 3 回 平成 26 年 10 月 14 日 (水) 午後 1 時半～3 時 45 分 エッサム神田
- ④ 第 4 回 平成 27 年 12 月 9 日 (水) 午後 3 時～5 時 協会会議室
- ⑤ 第 5 回 平成 28 年 2 月 17 日 (水) 午後 2 時～4 時 協会会議室

(4) 部会・委員会

- ① 総務部会 6 回開催 (4/20, 6/21, 9/2, 10/6, 11/29, 2/9)
- ② 対外活動部会 3 回開催 (6/14, 8/18/2/8)
- ③ 技術部会 5 回開催 (4/13, 6/16, 8/30, 11/30, 2/1)
- ④ 国際部会 4 回開催 (7/12, 8/31, 10/4, 2/22)
- ⑤ 役員候補者選考委員会 (9/6)
- ⑥ 表彰審査会 (5/10)
- ⑦ 中期行動計画 2020 推進委員会 (2/23)